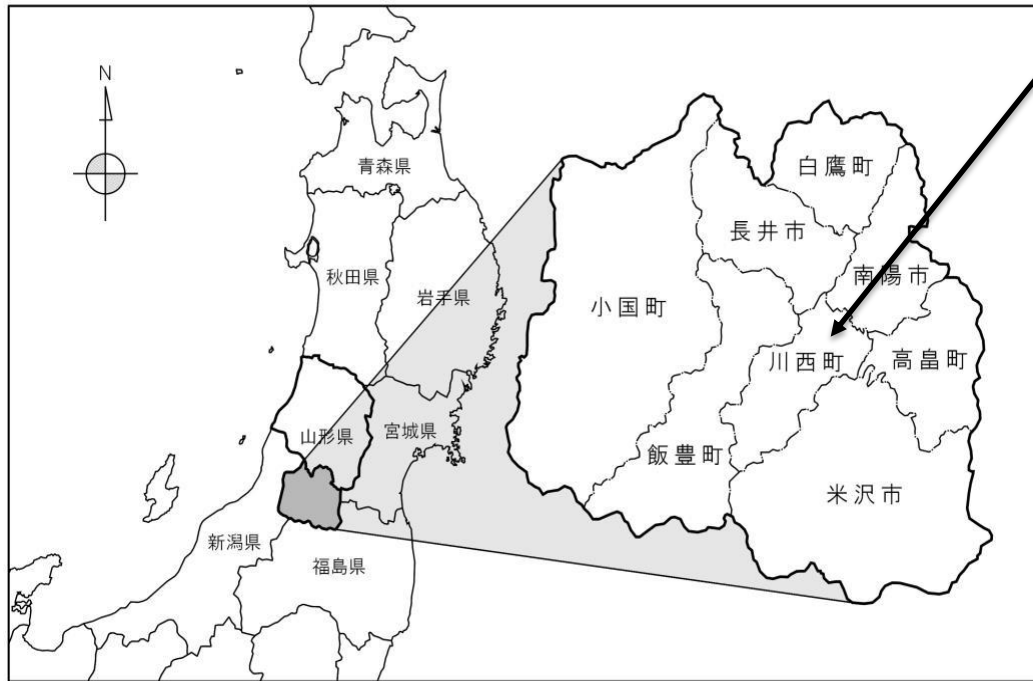


きらりよしじまをめぐる新しい動き



きらりよしじまネットワーク



■川西町概要

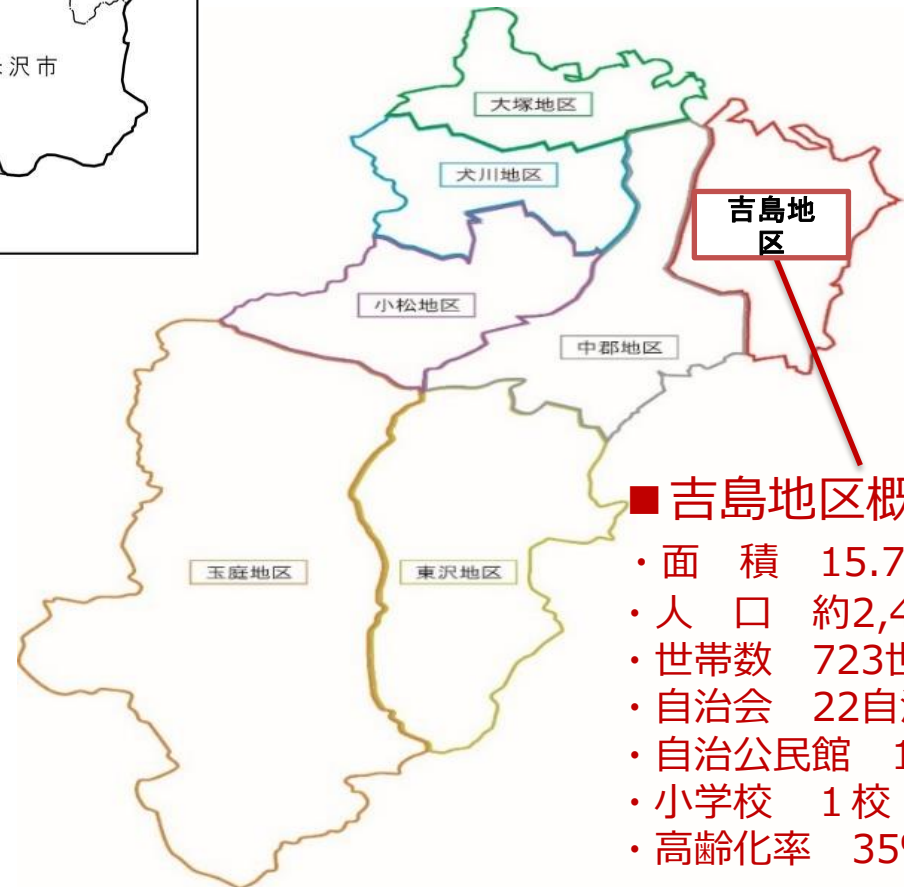
- ・面積 166.6 Km²
- ・人口 約15,000人
- ・世帯数 5,133世帯
- ・井上ひさしの出身地
- ・町の花 ダリア

小さな拠点

⇒小学校区エリア・地区交流センター

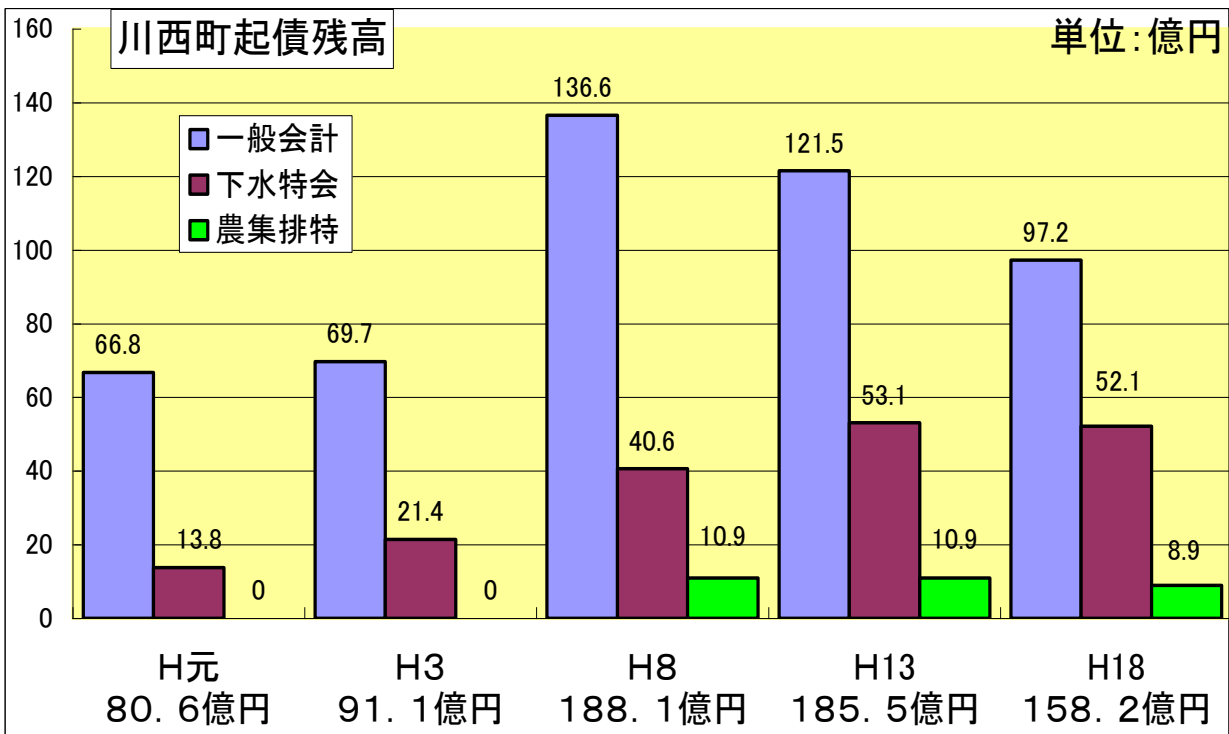
地域運営組織

⇒地区経営母体として7地区に設置



■吉島地区概要

- ・面積 15.72 Km²
- ・人口 約2,400人
- ・世帯数 723世帯
- ・自治会 22自治会
- ・自治公民館 19館
- ・小学校 1校
- ・高齢化率 35%



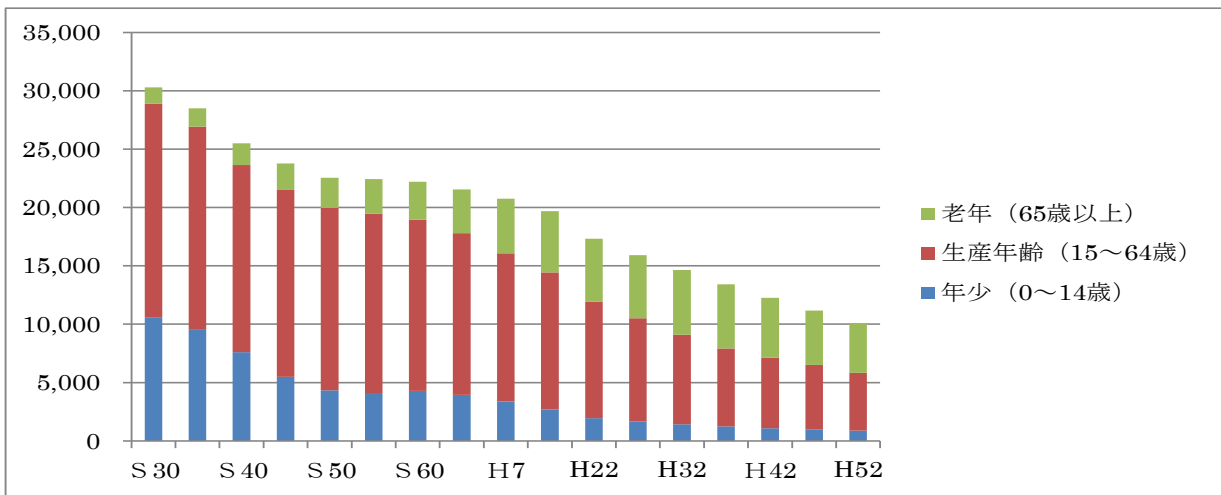
(H20.H30.H40 は国立社会保障・人口問題研究所公表：平成 25 年3月推計)

①人口の減少

②超高齢化

③財政状況

④地域活動の衰退



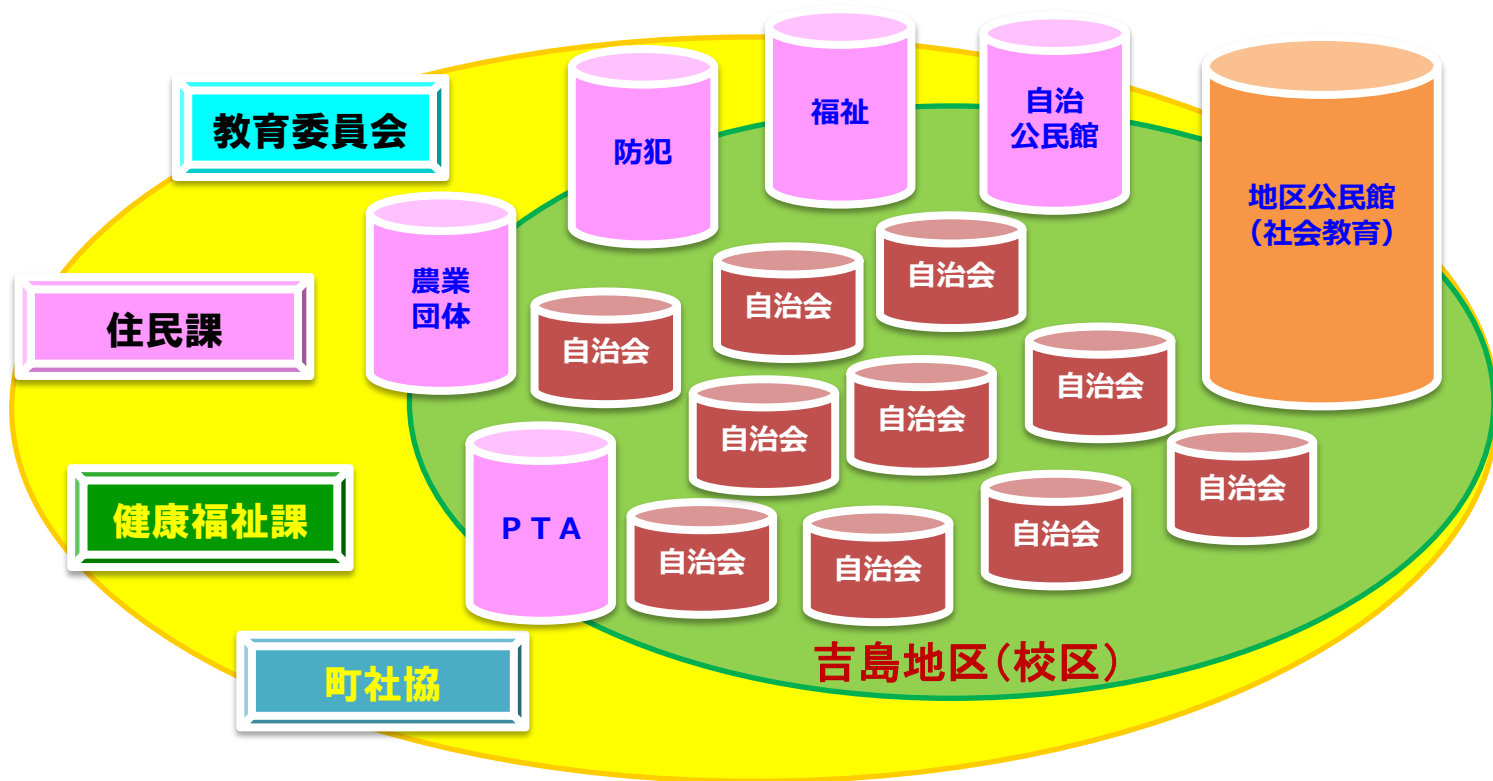
川西町の年齢構成の推移

- 2002 **地区公民館を公設民営化（7地区の社会教育振興会に管理等委託）**
吉島地区の地域づくり機構改革について検討（非公式）
- 2004 **まちづくり基本条例制定**
吉島地区各種団体総会において組織再編（案）NPO法人準備（案）承認
吉島地区計画策定委員会設置・機構改革委員会設置
- 2006 **地区公民館の指定管理者制度導入**
(地区経営母体設置と地区計画の策定着手・地区担当職員制導入・交付金制度創設)
川西町へ地区公民館のコミセン化を提案・地域づくり連絡協議会設置を提案
- 2008 **公民館の地区交流センター化検討委員会設置**
地域づくり連絡協議会設置
コミセン機能の充実を図るために積極的に関与
- 2009 **地区公民館センター化（地区経営母体を指定管理者）（交付金増額）**

形骸化する地域

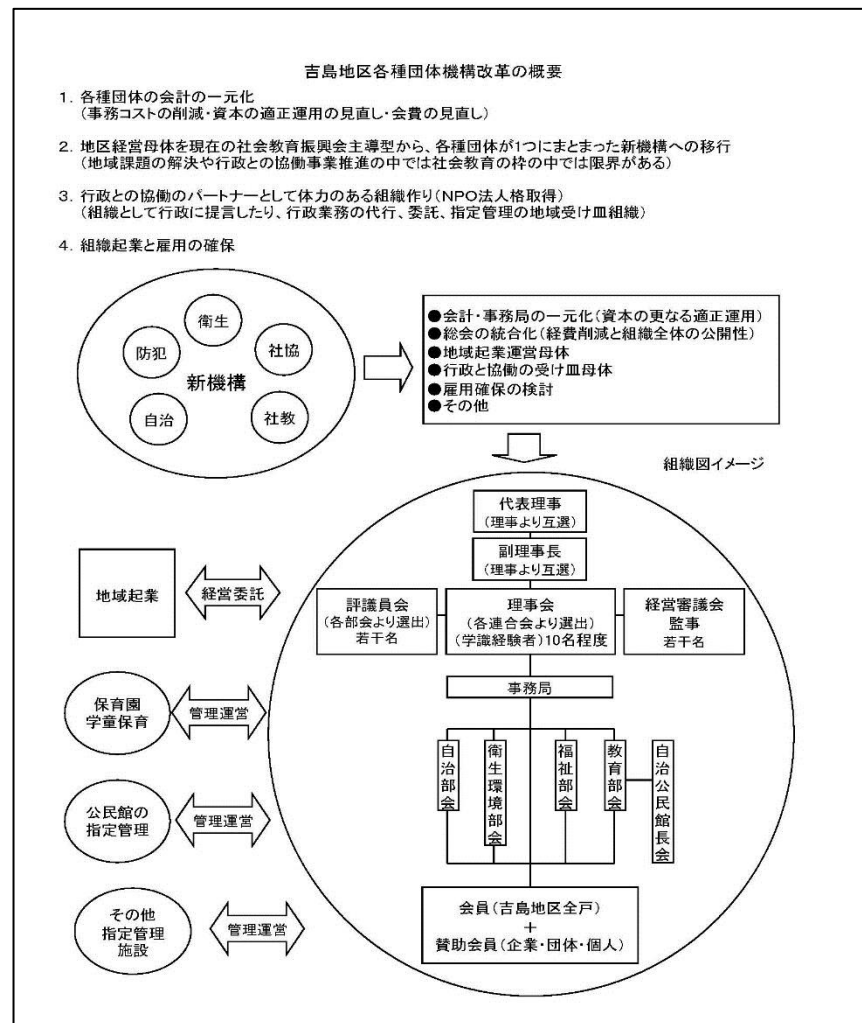
(2000年ごろ)

- ・ 役員は輪番制で重複し責任感希薄化傾向、高齢化による担い手不足。
- ・ 今までの事業の継続で手一杯。新しい事にチャレンジする気概がない。
(簡単に事業が廃止)
- ・ 地域も縦割りで横のつながりがない。(何をしている組織?)
- ・ 理由なき余剰金(何のための繰り越し?)
- ・ 若者や女性の出番がない。(話を聞く場、活動する場がない)



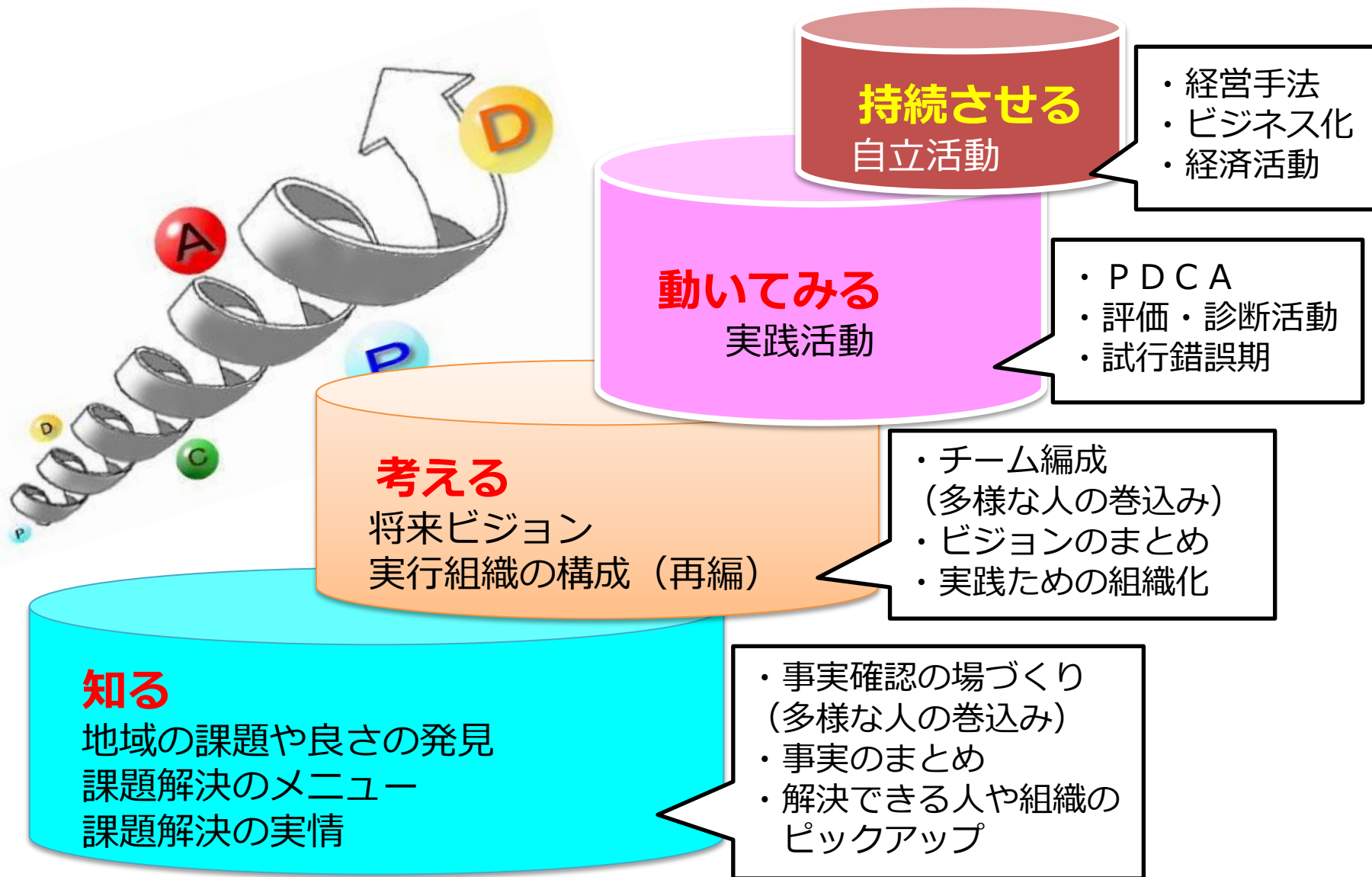
2004 吉島地区の再生（案）を提案

1. 会計と団体をまとめて合意形成を一元化
2. 計画に基づいた地域づくり（地区計画）
3. スピードのある課題解決と担い手育成
4. 全世帯加入NPO法人として自立



(地域運営組織形成のための手順書より)

よしじまが自立するまでのステップ



設立までのステップ 住民の対話による地域づくりを推進

NPO



非公式検討時期

機構改革案提案

地区計画策定

住民WS

住民説明

地区計画策定

住民WS

住民説明

社教振解散

定款策定

地区計画策定

住民WS

住民説明

きりり設立

2001~2003

2004

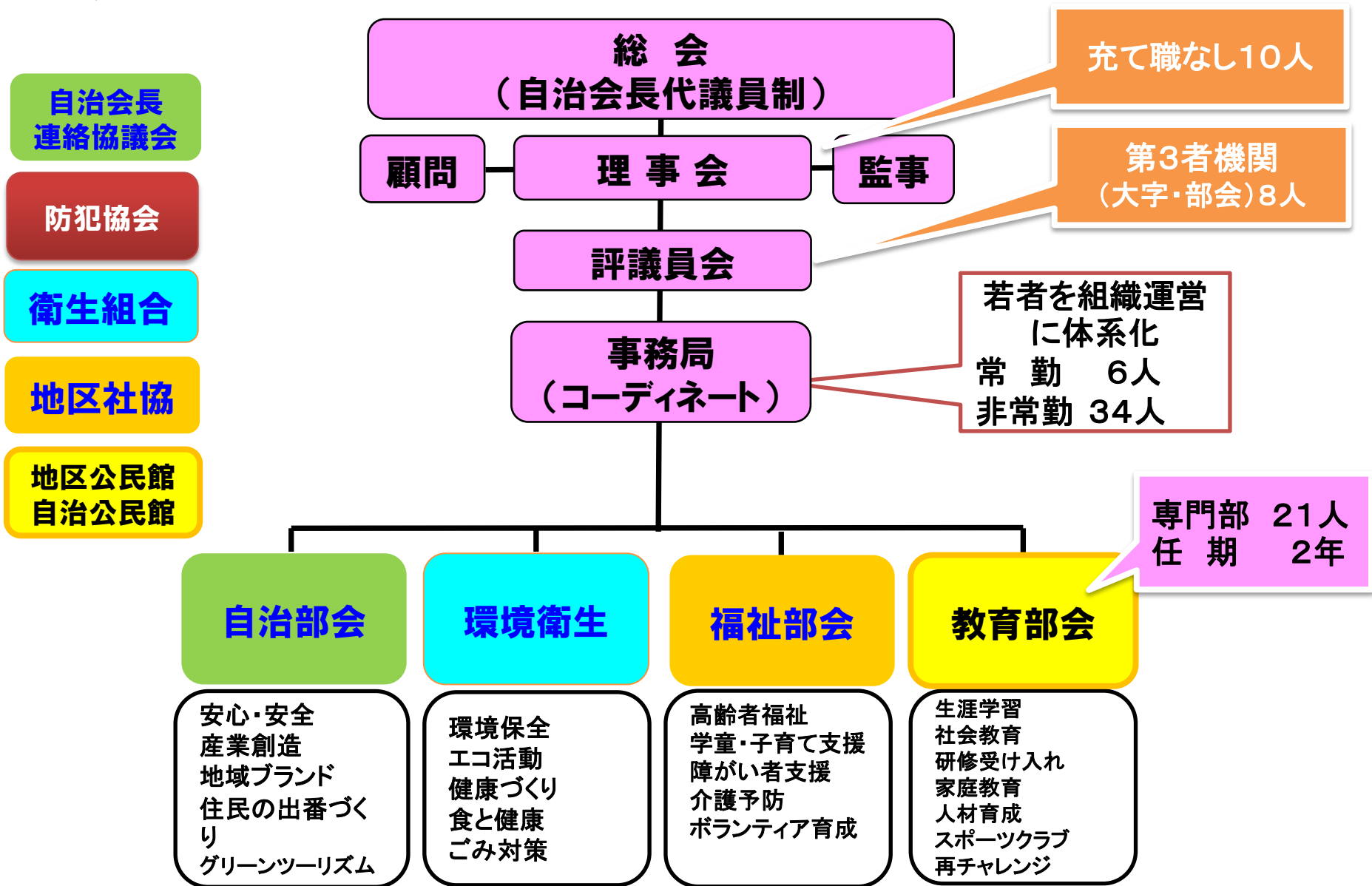
2005

2006

2007

2002 地区公民館
公設民営化

地域経営の組織再編



地域づくりに必要な柱（仕組み）

1. 合意形成

地域づくりの課題、ビジョンの共有

2. ひとづくり

地域運営の後継者と事業のプレイヤー

3. 資金づくり

事業や活動を支える資金

4. つながる

内と内・内と外・外と外

合意形成の流れを作り住民参加を促す

①WS・アンケート・各小委員会



住民の声を聴く、拾う場づくり



②事務局会



課題集約・解析、事業の企画立案



③理事会



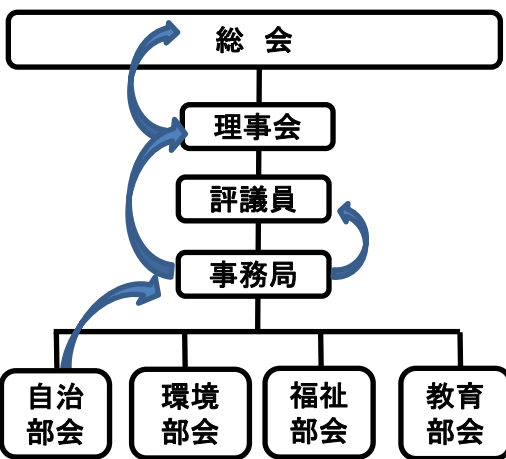
事務局の提案を精査する場



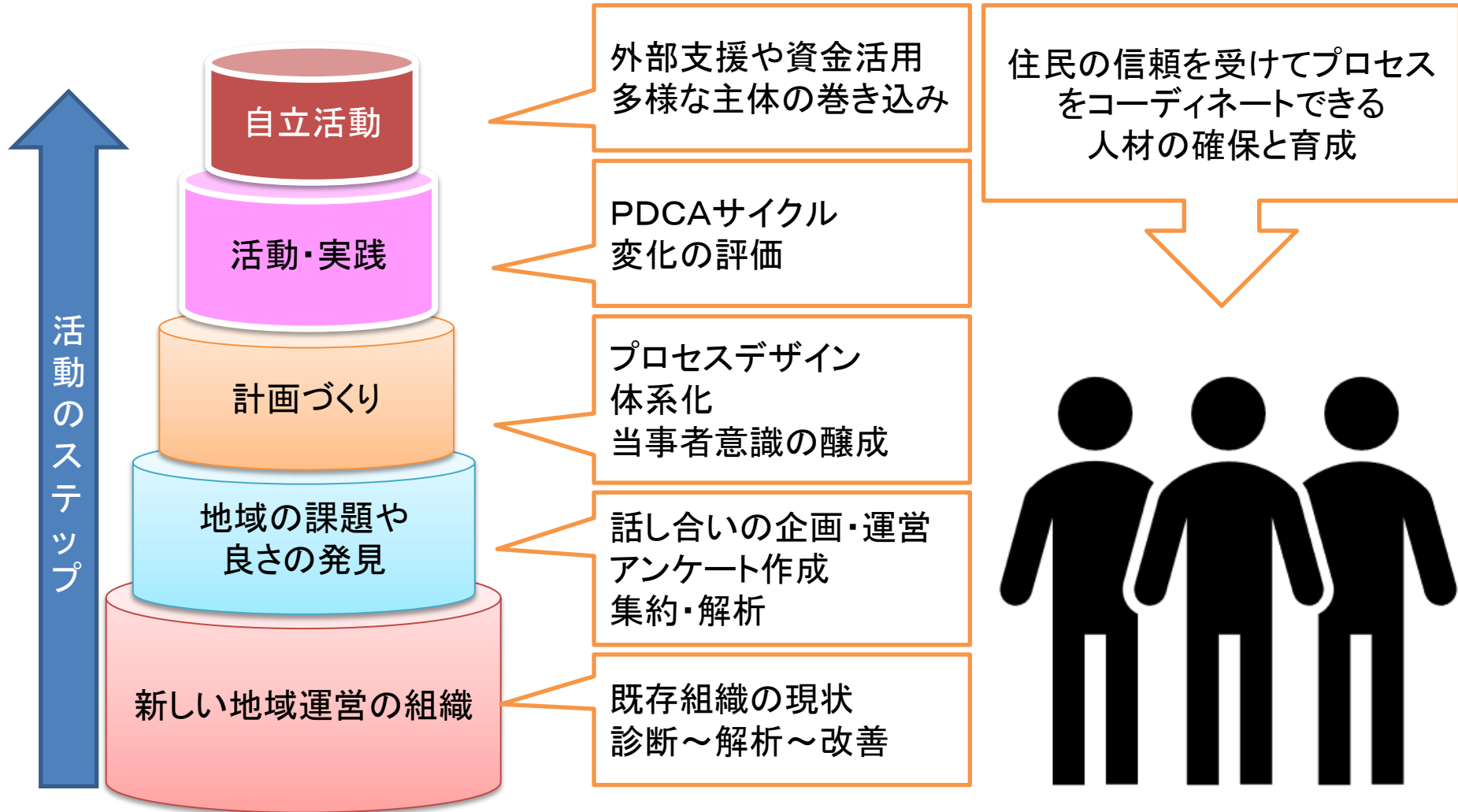
④総会



地域づくりのすべてを決議



課題解決までの「人材育成」のハードル



人づくりの仕組み



コーディネーター（マネジメント力）

地域づくりの組織を円滑に

経営するための人材

プレイヤー（コミュニケーション）

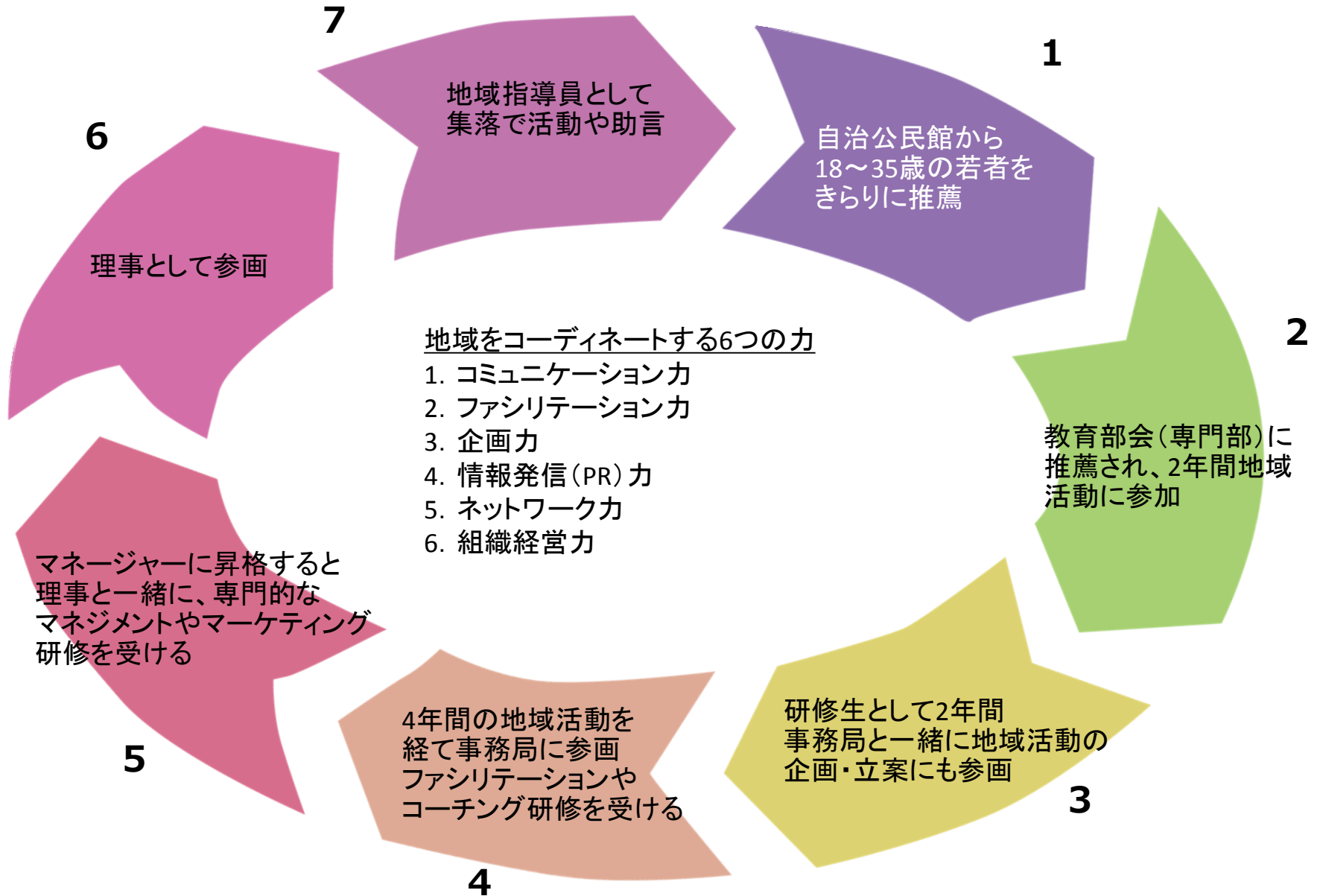
組織がおこなう事業を円滑に

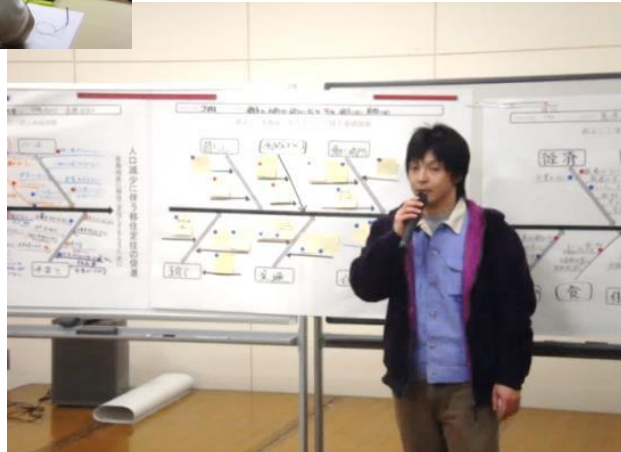
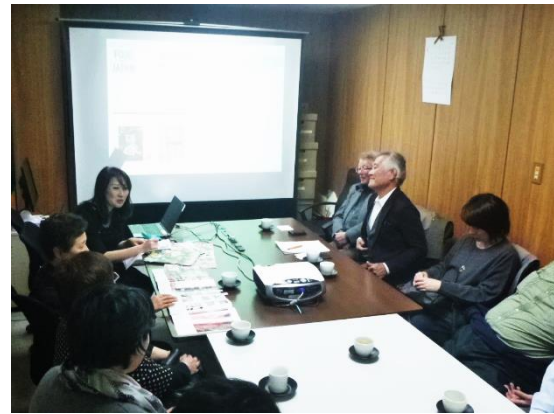
運営するための人材

組織がおこなう事業に積極的に

参加する人材

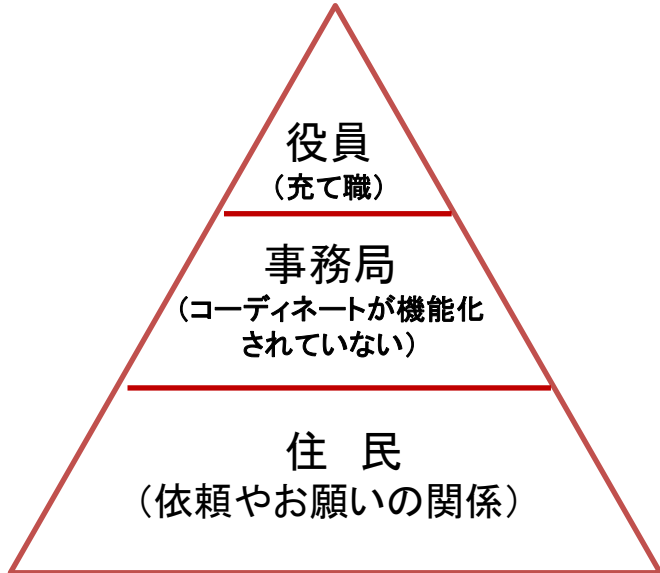
組織継続のための人材確保から育成までのステップ





お互いが認め合う人のつながりを意識

ピラミッド型



住民に想いが伝わりにくい

フラット&ウェブ型

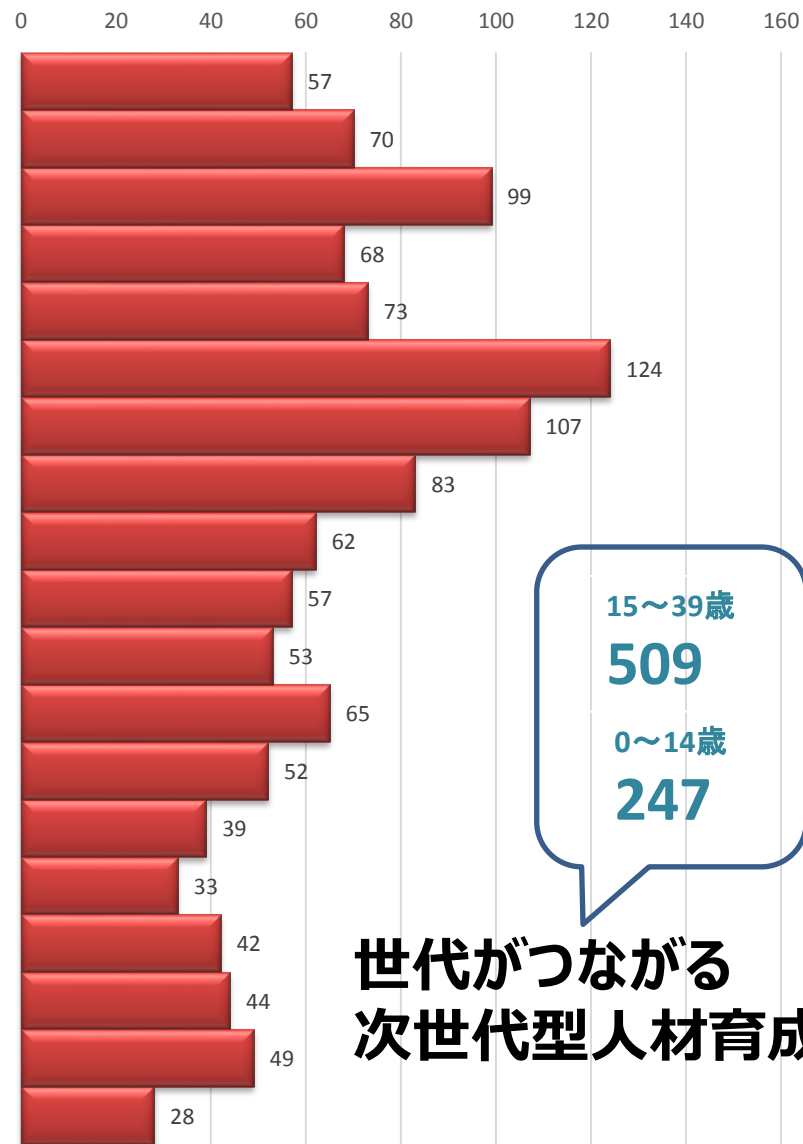
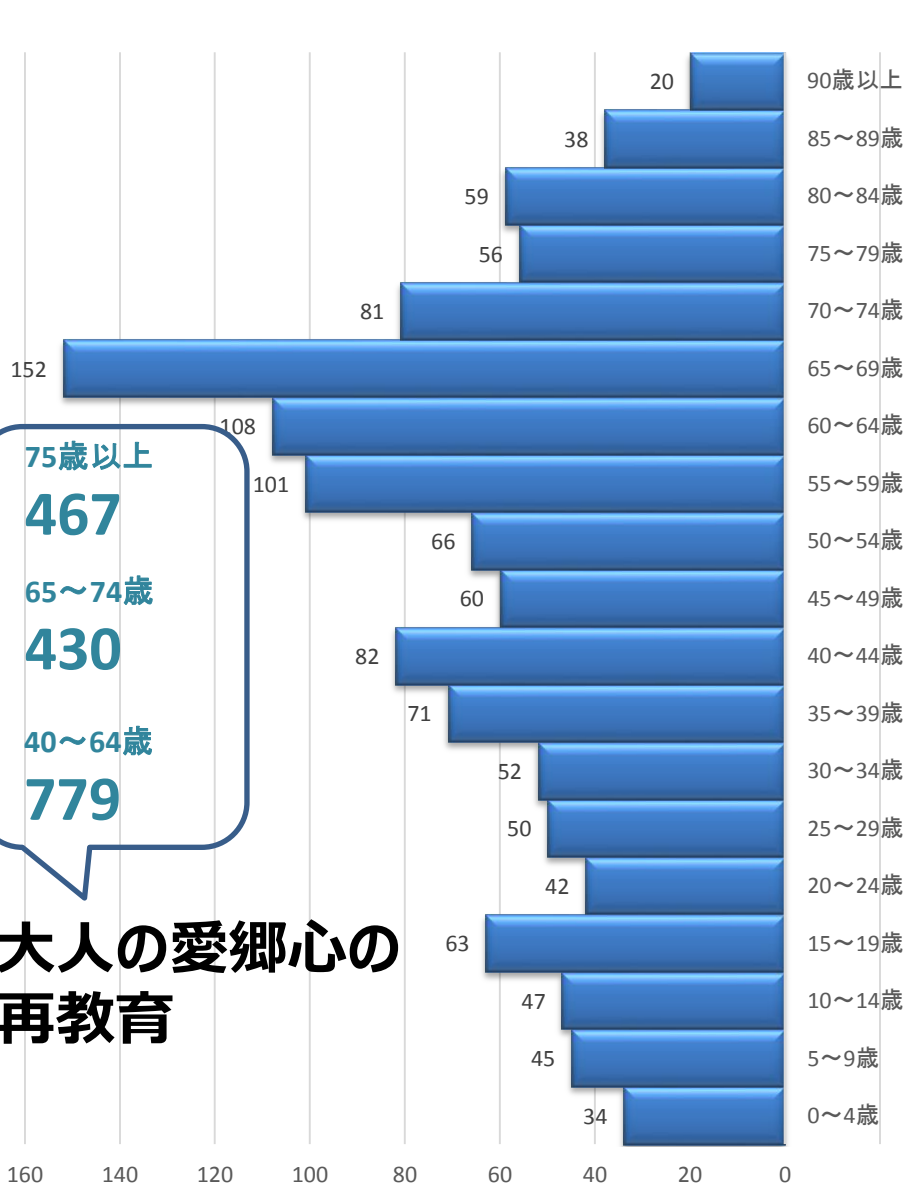


地域づくりに参画と実践の約束

- ・失敗しても再チャレンジできる風通し
- ・お互いが応援しあい相乗効果を生み出す

吉島地区2018年(平成30年4月1日)人口
2,432人(男性1,227人・女性1,205人)

高齢化率
36.9%



大人の愛郷心の
再教育

世代がつながる
次世代型人材育成

市町村	総人口（人）			市町村	総人口（人）		
	2015年	2030年	2045年		2015年	2030年	2045年
山形市	253,832	240,361	212,197	大江町	8,472	6,421	4,556
米沢市	85,953	72,719	57,720	大石田町	7,357	5,106	3,224
鶴岡市	129,652	105,651	80,892	金山町	5,829	4,373	3,144
酒田市	106,244	87,891	67,776	最上町	8,902	6,354	4,114
新庄市	36,894	30,116	23,018	舟形町	5,631	4,133	2,799
寒河江市	41,256	36,246	29,961	真室川町	8,137	5,421	3,283
上山市	31,569	24,531	17,541	大蔵村	3,412	2,392	1,535
村山市	24,684	18,486	13,055	鮭川村	4,317	2,920	1,762
長井市	27,757	22,022	16,377	戸沢村	4,773	3,328	2,112
天童市	62,194	59,270	52,800	高畠町	23,882	19,687	15,115
東根市	47,768	47,885	44,782	川西町	15,751	11,443	7,655
尾花沢市	16,953	11,581	7,247	小国町	7,868	5,251	3,220
南陽市	32,285	27,272	21,762	白鷹町	14,175	10,860	7,797
山辺町	14,369	12,229	9,636	飯豊町	7,304	5,342	3,620
中山町	11,363	9,292	6,989	三川町	7,728	6,745	5,380
河北町	18,952	15,534	11,868	庄内町	21,666	17,049	12,669
西川町	5,636	3,870	2,409	遊佐町	14,207	10,408	6,975
朝日町	7,119	5,125	3,419				山形新聞より抜粋

1	山形市	0.74
2	天童市	0.64
3	東根市	0.59
4	米沢市	0.54
5	寒河江市	0.52
6	新庄市	0.49
7	酒田市	0.46
8	上山市	0.46
9	長井市	0.44
10	南陽市	0.44
11	河北町	0.43
12	鶴岡市	0.42
13	三川町	0.38
14	高畠町	0.37
15	山辺町	0.36
16	中山町	0.36
17	村山市	0.35
18	庄内町	0.31

19	遊佐町	0.28
20	白鷹町	0.27
21	尾花沢市	0.26
22	大江町	0.26
23	小国町	0.25
24	西川町	0.24
25	川西町	0.24
26	大石田町	0.23
27	最上町	0.23
28	舟形町	0.21
29	朝日町	0.20
30	金山町	0.19
31	真室川町	0.19
32	飯豊町	0.19
33	鮭川村	0.17
34	大蔵村	0.15
35	戸沢村	0.15

自治体別財政力指数

これまでの10年とこれからの10年

2007~

Start-up

きらりよしじま設立

2009~

Running

人材育成
地域福祉
地域経済
雇用創出

2019~

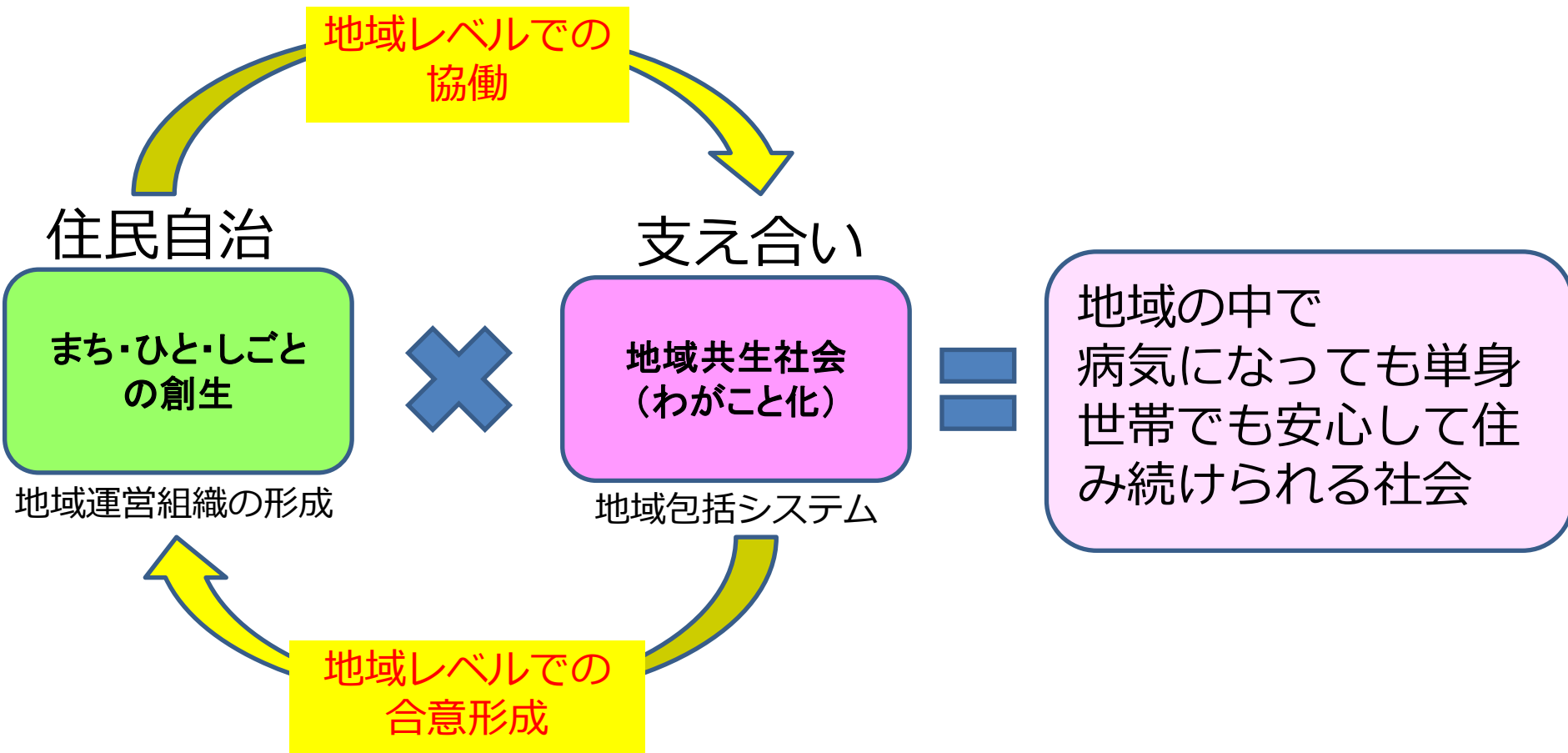
Upgrading

人口2,000人の地域づくり
(人口を増やすことではない)
①働き盛りの第二の青年団
②高齢者の安心の場づくり
③子どもたちが戻れる場
④地域外のおこがれの場

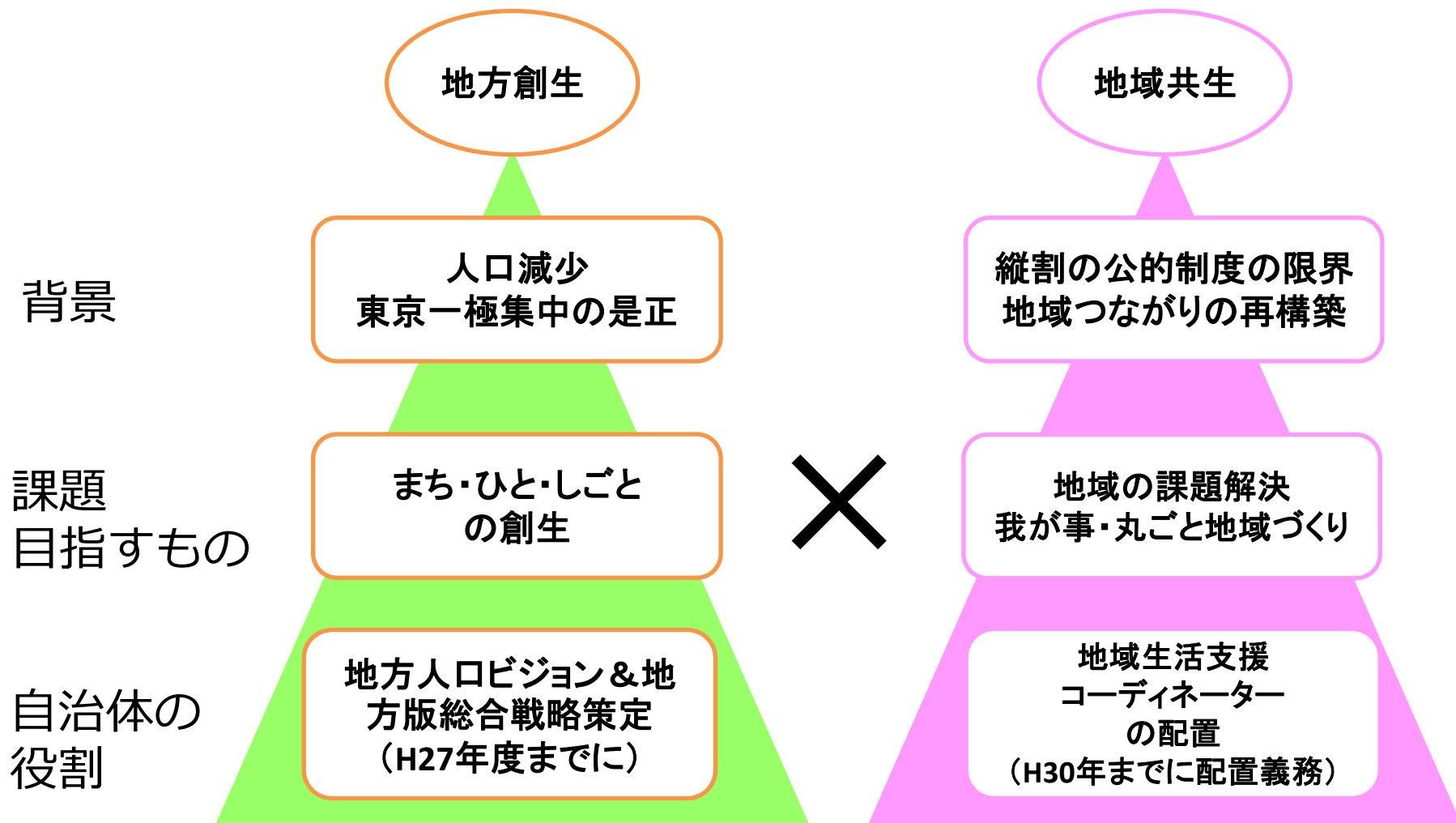
原則

- ①内発型 (自分たちの想い)
- ②多様性 (自分たちなり)
- ④革新性 (無難にこなさず)

地域創生×地域福祉 = 協働による地域づくり

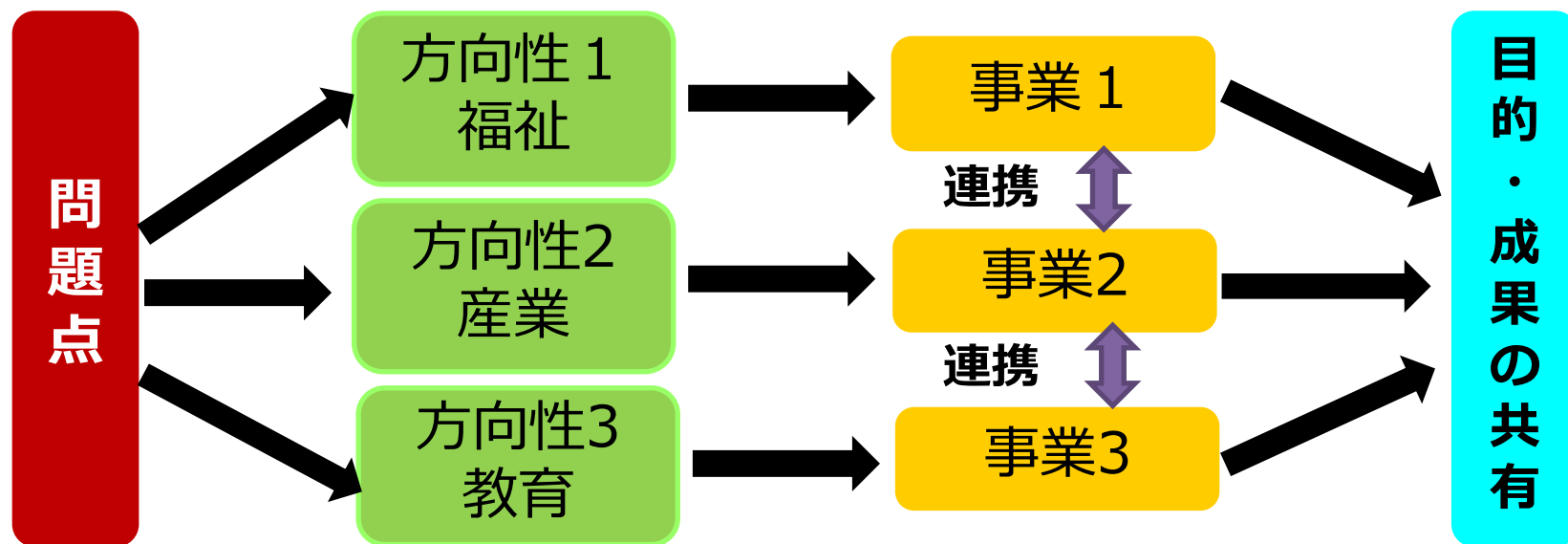


地方創生社会と地域共生社会の協働によるまちづくり



共通のテーマ⇒人口減少・少子化・超高齢化

課題解決を複層的に捉え事業化して多くの住民参加の
仕組みをつくる



鍛えられた人材

鍛えられた発想

ゆるやかな人のつながり

鍛えられた事業

住民内発型地方創生に向けた「きらり」のソリューション

住民の思いに寄り添い、共に学びあう関係性の中で、それぞれの内にある知恵・経験を持ち寄り、地域課題解決に主体的に取り組んでいく「**住民内発型地域創生**」を実現し、全県に普及する。

各地域で、住民主体の地域づくりに取り組む実務者が、地域間連携の中で学びあい、新しい仕組みを創造。

- ・課題発見、解決策のアイデア出し、活動の組成と展開のプロセスを、住民主体で推進する技術。

(ワークショップ、運営組織構築など)

- ・地域に不足する資源（視点、ノウハウ等）を、地域外から取り寄せ、住民が活かすためのネットワークづくり

関係人口の拡充

よそ者を受け入れる土壌づくり（第二のふるさと）

きらりのブラッシュアップをよそ者が支援

関係人口



ゆめ未来MTG
よそ者の知恵を借りる



イベント活動



インターンシップ



調査活動



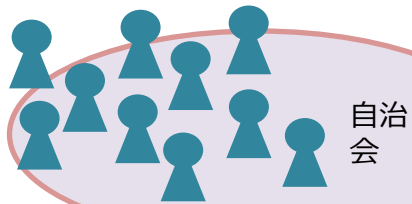
課題解決活動（WS）

ようこそ！
困ったことがあれば相談してね

ようこそ！！
自治会の内容について説明します。
自治会に入ってきらりに加入した方がいろんなサービスがあるので何かとお得ですよ

移住してきました。
自治会活動や地域活動について不安です

よくわかりました。
加入させていただきます。



自治会



自治会長
隣組長



移住された方

定住人口は確実に減少する！

超高齢社会はますます加速する！

自治体の財政は悪化する！

動けない人が増えてくる

時間がかかる人が増えてくる

支えるマンパワーが不足してくる

やるしかない！

ありがとうございました。

